

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 07004084
PUBLICATION DATE : 10-01-95

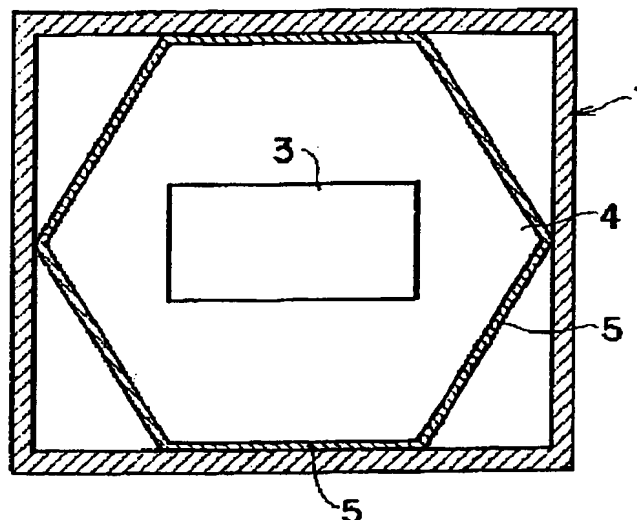
APPLICATION DATE : 17-06-93
APPLICATION NUMBER : 05172678

APPLICANT : SHIMABUKURO KOJI;

INVENTOR : NISHIO SHIGEMI;

INT.CL. : E04H 3/08 A61G 10/00 B27M 3/00

TITLE : TREATMENT ROOM



ABSTRACT : **PURPOSE:** To irradiate a patient with unknown energy through the unknown energy present in the natural world with increased power by a method wherein specified wood is selected and a number of through-holes in a hexagonal shape are formed in a plate, and a treatment region is surrounded with the plates.

CONSTITUTION: A treatment room 3 is built at the central part of a treatment room 1 having an outer wall formed in a square and a roof on which copper plates 2 are applied. Plates 5 are erected so that a treatment region 4 in a hexagonal shape is formed to the periphery of a treatment table 3. A number of through-holes 6, 6... in a hexagonal shape are formed in the plates 5. Cocolobo, pernambuco, purple heat wood, American cedar, perupok, bubinga, planchonia, Western red, cider, padauk wood, mahogany, a walnut tree, a Japanese peach, American pine, American white-cedar, canalium, an oak, or a white birch is used for the plate 5. Unknown energy emitted from the plate 5 is sharply increased.

COPYRIGHT: (C)1995,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-4084

(43) 公開日 平成7年(1995)1月10日

(51) Int.Cl.⁸

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

E 0 4 H 3/08

C

A 6 1 G 10/00

Z 7344-4C

B 2 7 M 3/00

A 2101-2B

審査請求 未請求 請求項の数 1 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平5-172678

(22) 出願日 平成5年(1993)6月17日

(71) 出願人 593134302

島袋 弘次

岐阜県恵那市武並町藤392-4

(72) 発明者 西尾 繁美

岐阜県恵那市大井町2018の144

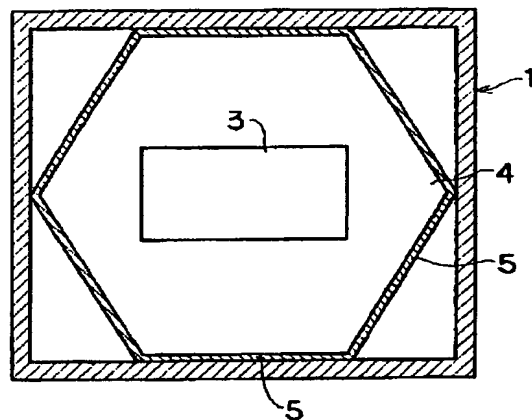
(74) 代理人 弁理士 武蔵 武

(54) 【発明の名称】 治療室

(57) 【要約】

【目的】 ピラミッドパワーに類する未知エネルギーを利用して、より高い治療効果を得ることができる治療室を提供する。

【構成】 治療室1は、ココロボ又はヘルナン・ブコ又はパープルハードウッド又はアメリカ杉又はベルボック又はブピンガー又はプランチョネラ又はウエスタン・レッド・シダー又はバドックウッド又はマホガニー又は胡桃又はブナ又はアメリカ松又はアメリカヒバ又はカナリウム又は桤又は白樺の板材5に六角形状の透孔を多数穿設し、該板材5で治療領域4を囲ってなる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ココロボ (cocolobo) 又はヘルナン・ブコ (fernambuco) 又はパープルハードウッド (purple hard wood) 又はアメリカ杉 (american cedar) 又はベルボック (perupok) 又はブビンガー (Buvinja) 又はプランチョネラ (planchonella) 又はウエスタン・レッド・シダー (western red cedar) 又はパドックウッド (padouk wood) 又はマホガニー (mahogany) 又は胡桃又はブナ又はアメリカ松 (american spruce) 又はアメリカヒバ (american phiba) 又はカナリウム (canaryum) 又は桤又は白樺の板材に六角形状の透孔を多数穿設し、該板材で治療領域を囲ってなることを特徴とする治療室。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、患者に治療を施すための治療室に関する。

【0002】

【発明の背景】 現在、未知エネルギーとして有名なものにピラミッドパワーがある。このピラミッドパワーは、地上から3分の1の高さにあるピラミッドの石室で、小動物の死骸が殆ど腐敗していなかったことがきっかけとなり、1930年頃フランス人によって発見された。以後、ピラミッドパワーが注目を浴び、1954年、チェコスロバキアの電気技師であるカレル・ドレバル氏がピラミッドパワーにより使い古した剃刀の刃の着れ味が良くなることを発見した。また、日本では甲南大学の佐藤明雄教授がピラミッドの中と外にミカン置いて両者の腐敗の程度を実験した。その結果、ピラミッドの外のミカンはすぐに腐敗したのに、ピラミッドの中のミカンは乾燥してミイラ化し、艶々した状態を1年間持続した。このようなピラミッドパワーは、キルリアン写真によってその存在がとらえられ、ダウジングロットに激しく反応することから、オーラのような未知エネルギーの存在が考えられるものの、その実体は未だ解明されていない。本発明は、上記に類する未知エネルギーを利用して、より高い治療効果を得ることができる治療室の提供を目的とする。

【0003】

【目的を達成するための手段】 上記の目的を達成するため本発明は、ココロボ (cocolobo) 又はヘルナン・ブコ (fernambuco) 又はパープルハードウッド (purple hard wood) 又はアメリカ杉 (american cedar) 又はベルボック (perupok) 又はブビンガー (Buvinja) 又はプランチョネラ (planchonella) 又はウエスタン・レッド・シダー (western red cedar) 又はパドックウッド (padouk wood) 又はマホガニー (mahogany) 又は胡桃又はブナ又はアメリカ松 (american spruce) 又はアメリカヒバ (american phiba) 又はカナリウム (canaryum) 又は桤又は白樺の板材に六角形状の透孔を多数穿設し、該板材で治療領域を囲ってなる治療室を提供する。

【0004】

【作用】 ココロボ、ヘルナン・ブコ、パープルハードウッド、アメリカ杉、ベルボック、ブビンガー、プランチョネラ、ウエスタン・レッド・シダー、パドックウッド、マホガニー、胡桃、ブナ、アメリカ松、アメリカヒバ、カナリウム、桤、白樺の板材から未知エネルギーが放射されていることをダウジングロット測定法により発見した（後述する表1参照）。そして、その板材に六角形の透孔を多数穿設することによりさらに未知エネルギーがパワーアップされることもダウジングロット測定法により確認した。従って、治療領域を前記板材で囲うことにより、治療中、絶えず患者に未知エネルギーが照射されるから、患者自身の身体の活性化が促進される。

【0005】

【実施例】 以下に本発明の実施例を図面を参照しつつ説明する。なお、図1は治療室の断面平面図、図2は治療室の縦断面図、図3は板材の正面図、図4はダウジングロットによる測定方法を説明する平面図である。治療室1は、外壁が四角形であり屋根には銅板2が貼られている。治療室1の中央には治療台3が設置されており、その治療台3の周りに六角柱形状の治療領域4が形成されるように板材5が立設される。該板材5は、中南米産のココロボを使用するが、これ以外にも南米産のヘルナン・ブコ、アフリカ産のパープルハードウッド、北米産のアメリカ杉、マレーシア産のベルボック、アフリカ産のブビンガー、南米産のプランチョネラ、カナダ産のウエスタン・レッド・シダー、アフリカ、マレーシア産のパドックウッド、南米、アフリカ産のマホガニー、アフリカ、カナダ産の胡桃、日本産のブナ、北米産のアメリカ松、北米産のアメリカヒバ、マレーシア産のカナリウム、日本産の桤や白樺でもよい。板材5には図3に示すように六角形状の透孔6、6…が多数穿設されている。なお、治療室1の床と天井にも同種の木材が使用される。

【0006】 而して、前記板材5は、強い未知エネルギーを放射している。未知エネルギーの存在はダウジングロット測定法で確認することができ、ダウジングロットの回転量で未知エネルギーの強さが分かる。そこで、上記17種の板材5の未知エネルギーをダウジングロットで測定し、その結果を表1に示した。なお、測定は、58mm×300mm×8mmの板に六角形の透孔6、6…を多数穿設した板材5を使用し、図4に示すようにダウジングロット7を水平にゆっくり移動させて板材5の上部中央で停止させ、各ロット7a、7b間の開き角 θ を実測した。そして、透孔6、6…を穿設したことによる未知エネルギーの増加を確認するため、前記と同じ材質、同じ大きさの板で透孔6、6…が無い板材を作り、同様に各ロット7a、7b間の開き角 θ を実測した。

【0007】

【表1】

	板 材	透孔無し	透孔有り
1	ココロボ	154°	322°
2	ヘルナン・ブコ	157°	314°
3	バーブルハードウッド	137°	221°
4	アメリカ杉	116°	259°
5	ベルボック	103°	298°
6	ブピンガー	120°	268°
7	ブランチョネラ	68°	169°
8	ウエスタン・レッド・シダー	119°	298°
9	バドック	40°	150°
10	マホガニー	60°	118°
11	胡 桃	124°	220°
12	ブナ	55°	110°
13	アメリカ松	116°	237°
14	アメリカヒバ	135°	236°
15	カナリウム	135°	160°
16	樫	49°	130°
17	白 樺	32°	233°

【0008】表1の結果から、上記各17種の板材は、特に加工を施さない状態でも未知エネルギーを放出しているが、六角形の透孔6、6…を多数穿設することによって飛躍的にパワーアップされることが分かる。なお、白樺の板材表面に多数のピラミッドを突設した治療具が従来からある。その治療具は、約78mm×240mmの板材表面に、底辺の一辺が約8mm程度で頂角が約76度のピラミッドを縦横に配設してなるものである。該治療具の未知エネルギーと、その治療具と同寸でピラミッドの無い単純な白樺材の未知エネルギーをダウジングロットで測定したところ、前記θが、前者で約42度、後者で約32度であった。一方、同寸の白樺材に六角形の透孔を多数穿設して同じ測定を行ったところ、前記θが約233度になり、ここでも六角形状の透孔6、6…を多数穿設することによるパワーアップ効果が立証された。

【0009】以上本発明の実施例について説明したが、もちろん本発明は上記実施例に限定されるものではない。例えば、実施例では、治療領域4を六角形状に形成したが、それ以外にも四角形や八角形状であってもよい。また、治療室1の外形も四角形以外に丸や六角或いは八角形など、どのような形状であってもよい。また、

床や天井は一般的な建築材を使用してもよい。

【0010】

【発明の効果】以上のように本発明は、無数に存在する木の種の中から特定の木を選択し、その木に六角形状の透孔6、6…を多数穿設して板材5を形成し、該板材5で治療領域4を囲う技術手段を講ずることにより、自然界に存在する未知エネルギーをパワーアップして患者に照射することができる。この未知エネルギーにより患者自身の身体の活性化が促進される優れた効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 治療室の断面平面図である。

【図2】 治療室の縦断面図である。

【図3】 板材の正面図である。

【図4】 ダウジングロット測定法を説明する平面図である。

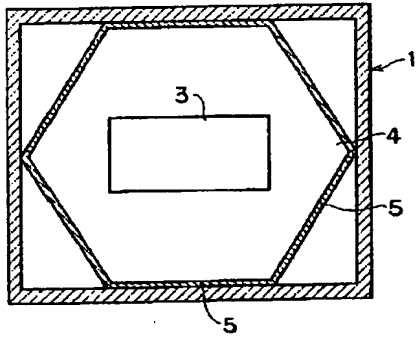
【符号の説明】

- 1 …治療室
- 4 …治療領域
- 5 …板材
- 6 …透孔

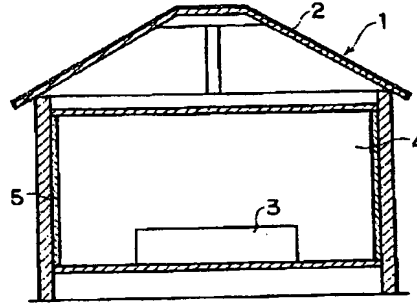
(4)

特開平 7-4084

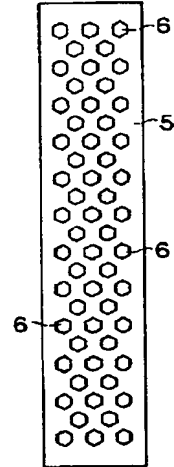
【図1】



【図2】

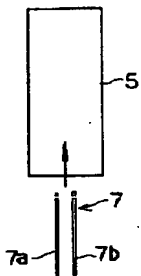


【図3】



【図4】

(a)



(b)

